CS こひつじ科礼拝式次第

2023 年 2 月 5 日　午前 9 時 30 分

２０２３年度年間テーマ：「主イエスの教えに聞き従うものになろう」
テーマ曲：ワワワいっしょに（９２番）
暗唱聖句：「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。」　マタイによる福音書６章３３節

５、かみさまは（こどもさんびかをお用いください）

おいのり　礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしょ　マタイによる福音書 5 章 14 節～16 節

「あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。また、ともし火をともして升(ます)の下に置く者はいない。燭台(しょくだい)の上に置く。そうすれば、家の中のものすべてを照らすのである。そのように、あなたがたの光を人々の前に輝(かがや)かしなさい。人々が、あなたがたの立派(りっぱ)な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。」

おはなし　「私たちは世の光」　星野房子先生

「あなたがたは世の光である」と、イエス様はお弟子さんたちに言われました。これはどういう意味なのでしょうか？「あなたがたは世の光になりなさい」と、言っているのではありません。この世に来られたイエス様を信じている私たちは、神の子としてもう天の国に入れられているのです。イエス様と出会った私たちは、もうすでに「あなたがたは世の光になっていますよ」、「この世を照らす光としての働きが与えられていますよ」と、言われているのです。

イエス様は「私は、世にいる間、世の光です」（ヨハネによる福音書 9：5）と、自己紹介されました。イエス様は太陽のようにご自身で光ることができています。でも、私たちは罪があり、自分で光ることができません。私たちはイエス様の光に照らされて、世の光そのものであるイエス様の光を浴びて光ることができるのです。イエス様が私たちを照らしてくださり、神さまの前に生きるのにふさわしい者へと造り変えてくださったから、「私たちは世の光」なのです。イエス様は「あなたがたはわたしの光で照らされているから、光っていますよ。あなたがたも世の光なのですよ」と、言われました。私たちもイエス様から光をいただいて輝くのです。「世の光であるイエス様」と出会った私たちは、私たちの周りを照らす「世の光」となるのです。

光は、どんな時に必要でしょうか？　皆さんは停電を知っていますか？　みんなのお家の電気が付かなくなって、真っ暗になってしまうことです。夜に停電で、電気が付かなくなって、懐中電灯やろうそくの火で部屋を明るくしようとする時があるかもしれません。その時には、その部屋全体を明るくするためにテーブルに上に懐中電灯やろうそくを置くと思います。テーブルの下などにろうそくを置いたら部屋全体を明るくすることができないですよね。ともし火はまわりを照らすためにあります。だから部屋全体を明るくするためにろうそくなどをテーブルの上に置きます。

それでは、「光を照らす人」ってどんな人のことでしょうか？イエス様からいただいた「世の光」をみん

なにわかるようにすることです。イエス様は言われました。私たちの周りの人達に「世の光」を照らして、イエス様の子供として生きなさい。お友達に、イエス様のすばらしさを知らせなさい。イエス様によって「世の光」として生かされて喜んでいる自分を、言葉と行いによって伝えなさい。私たちと一緒にいてくださるイエス様の光を、お友達を愛する生活を通して人々の前で輝かしなさい。光のもとであるイエス様のみ言葉を示して生きていく「私たちは世の光」なのです。

弱い私たちは、なかなか光を照らすことができません。どうしたらよいのでしょうか？それは、イエス様をお手本にしてイエス様を見つめること、世の光であるイエス様と一緒にずっと生きていくことです。イエス様といつも一緒にいれば、イエス様の光がわたしたちを照らし、強くしてくださり、神さまが喜ばれることを出来るようにしてくださいます。礼拝で神さまのみ言葉を聴き、お祈りするわたしたちは、みんなこの光を浴びて、「私たちは世の光」とされます。私たちの生活を見て、神さまって素晴らしいね！と、お友達が思ってくれたら、神さまも私たちもうれしいですね。

⁂　小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

（けんきん）会堂 2 階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

９３、わたしはちいさいひ（こどもさんびかをお用いください）